



小野 曜子

質問 3

除染土実証事業の説明会は

町 町民に説明会を開催する

問

伊王野山村広場で埋立実証事業を行うかどうかは、町全体の問題であり、いったん保留し、町民全体に説明する必要がある。不安、疑問に答える場としての説明会の開催を。

答

あくまでも伊王野山村広場ありき、そこが最終の「仮置き場」の場所だとは考えていない。場所はこれから探すということである。

答

地元多くの住民には理解されたが、住民全部を対象にした実証事業の説明会も行う必要がある。

問

仮に事業を実施したとして町全体の除染土の「仮置き場」として「伊王野地区ありき」で決めることはないかと約束できるか。  
町民、周辺住民の納得を得られないまま、「仮置き場」として決定することはないと言えるか。



実証事業が実施される伊王野山村広場

質問 5

テニスコート移設は再考を

町 テニスコートは8面必要

問

今の場所での改修なら町有地が隣接し、最大6面確保できると思われ、1億から2億円ほど安くできる、との試算がある。町はどうしても8面必要だからこの理由で移設しようとするのか。

の時には同時に駐車場が利用できないなど、慢性的な駐車場不足が発生している。新たな駐車場確保には新たな用地の購入費等も発生する恐れがある。

答

今後100人程度の規模の大会や、合宿等の誘致を鑑みて8面が必要と考えている。

問

町内の観光施設には合計80面もコートがある。町民は多額な費用のテニスコート建設を望んでいない。多額の事業費支出を避けるために、駐車場確保などを解決しつつ今の場所での改修することはできないか。

答

現在のコートの周辺には文化センターやスポーツセンター、ゆめプラザ、余笹川ふれあい公園等があり、イベント開催



町営中央テニスコート